



白熱の体育大会



部活動にも全集中の5月後半

5月12日は、本校の第77回体育大会でした。午前5時半に「予定どおり実施」と判断しました。

分刻みに見続けていた天気予報では、午前9時頃から降雨が予想されていましたので、正直なところ実施の可否についてはかなり迷いました。延期にして14日に実施すれば、途中で打ち切ることなく半日で終了できるというメリットがあります。しかし、実施に踏み切ったのは、できるだけ多くの保護者や地域の方に、「**宮大附属中生が立てた計画に従って、自ら考えながら行動することで、まとまっていく姿**」を見てほしいという思いが勝っていたからです。

短期間で準備を進めてきた体育大会ですので、すべてが思い通りにうまく進むわけではありませんでしたが、各団が総合優勝やファミリー賞を目指して**互いを鼓舞し切磋琢磨する姿**には多くの感動がありました。

生徒は、小雨が時折降る曇天の中、掲げられたビジョン「**～しんこう～ 進行・親交・振興**」のもと、素晴らしい態度で体育大会に臨むことができました。

全学年・学級の生徒の姿を見ていただくために、開会式の一部を省略し、プログラムの順番を変えながら大会を進めました。生徒は変更にも柔軟に対応しながら、協力して目標の達成を目指しました。

午前11時の段階で雨が強くなり、雷注意報が発令されました。3競技と閉会式については、後日改めて設定する判断をし、生徒、保護者、地域の皆様のご理解をいただき打ち切りました。

1日空いた14日の午前中には、学年選抜リレー、綱引き、900M通学年リレーの3競技を行い、閉会式と解団式で締めくくりました。12日とは対照的な日差しが暑いぐらいの晴天で、特に全校生徒で競い合った綱引きは白熱した好勝負となりました。2種目のリレーでは、団の選手を声をからしながら応援するなど、絆の深まりが見られました。

開会式の生徒会長挨拶、閉会式の体育大会実行委員長挨拶は、**仲間や周囲の人々への感謝の気持ちやリスペクトに溢れた言葉**で紡がれ、心が揺さぶられるものでした。体育大会をみんなで作り上げてきた自信がみなぎっており、掲げられたビジョンは十分に達成できたと思います。結果は、総合優勝、ファミリー賞ともに**赤団**が獲得しました。おめでとうございます。



全力で戦いました！

解団式では、団長を中心に4つの大きな輪が広がり、ファミリーで燃え尽きたこれまでの足跡を振り返る様子が見られました。PTAの皆様にも様々な面でサポートをいただきありがとうございました。

6月に入ると宮崎地区中学校総合体育大会が始まります。1日のソフトテニス競技を皮切りに、8日から11日の間に最も多くの競技が開催される予定です。

3年生にとっては、県大会につながる最後の大会になります。体育大会同様、**効率的で悔いを残さない練習**に努め、**満足・納得のいく試合**をしてほしいと思います。保護者の方の同意を得て、部活動の練習時間が30分延長される部活動もあります。30分延長される意味を十分に理解し、準備や片付けなどの行動を素早くすることで、仲間との密なコミュニケーションの時間を増やし、チームとして目標にしている結果を目指してください。

過去にさかのぼっても、本校は生徒数がほとんど変わっていないため、宮大附属中学校にある部活動の数は20年前と変わっていません。年度によって入部数の増減はあるようですが、今年4月末日現在で**410名(91%の割合)の生徒**が校内部活動、※校外部活動で頑張っています。

※ 校外部活動については、附属中学校の教員による指導は行っていませんが、中学校総合体育大会等の引率が必要な場合において、顧問として帯同することとしています。

近年、より一層「教員の働き方改革」が叫ばれている中、各市町村においては、土日の部活動を外部指導員にお願いするの動きが見られます。宮大附属中学校では、校外部活動はあるものの、外部指導員を見つけるなどの流れにはなかなか追いついていない状況です。

全国的を見ると、令和7年度をもって学校から部活動をなくし「教員の働き方改革」を進めるという附属中学校もあると聞いています。

ただ、本校の生徒が部活動を頑張ることを通して、心身の健康を増進している姿を見ますと、部活動を学校からなくしてしまうのは早急すぎるようにも感じています。今後、情報共有を図りながら「在り方」の議論が進むのでしょうか、今は、学校、地域、保護者、教育後援会等が協力し、生徒ファーストで支援していくことが肝要だと考えています。

附属中学校の職員で共有した平成6年度のテーマは「**仲間をリスペクトし、新たな創造ができる学校を目指す**」です。「学校、地域、保護者、教育後援会」＝「仲間」と解釈していただき、相互をリスペクトできれば、新しいことやものを生み出す力が生まれると信じています。

話がずいぶん脱線しましたが、今こそ部活動に真剣に取り組むチャンスです。運動部活動だけではなく、当然、夏季休業中にコンクールを迎える吹奏楽部や合唱部、日常の学校生活や学校行事等に潤いや感動を与えてくれる美術部や放送局の皆さんも、地道な活動を継続してください。保護者の皆様におかれましては、大会出場時や練習時のお声かけをお願いいたします。